

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	
補助教材等	
学習上の留意点	
講義毎に指示されるレポートについては、提出締切を守り必ず提出するようにすること。また、講義を受講していないのに、レポートの課題だけを後で聞いてレポートを提出することは認められないので注意すること。	
担当教員からのメッセージ	
レポートのみの評価となっているので、レポートが提出されないとその回の評価点は0点となります。だれがどのレポートを出していないといった管理はしないので、毎回締め切りを守ってレポートを提出するようにして下さい。	

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	超電導(吉田)	自分の専門以外の分野についても、基礎知識や新しい技術について理解でき、説明できる。	講義毎に指示された内容のレポートを作成する。
2	新規な構造を有する超高強度靱性金属材料の研究開発(藤田和)		
3	実験モード解析によるシステム同定(藤田活)		
4	再生可能発電とその系統連系技術(西田)		
5	画像計測とその応用(橋本)		
6	生産設備とその制御(日高)		
7	光の本質的な性質と光を用いたエレクトロニクス素子(成島)		
8	信号処理とその応用(江原)		
9			
10			
11			
12	水の特異性と浄化について(福地)		
13	医療に用いられる機能性材料(廣原)		
14	回転分子モーターの動作原理(三留)		
15	まとめ、授業アンケート		
総 学 習 時 間 数			90時間
講 義			30時間
自学自習			60時間